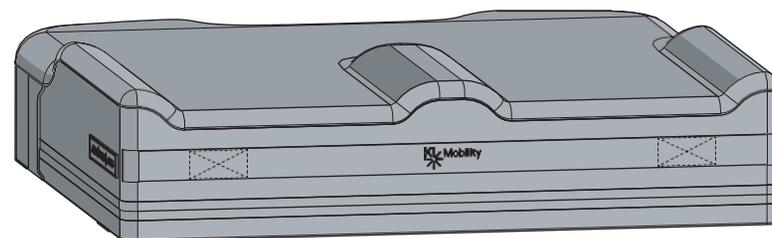


# AXIOM | AS

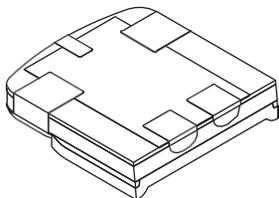
# AXIOM | ASP



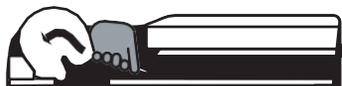
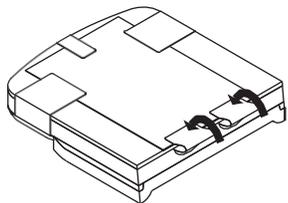
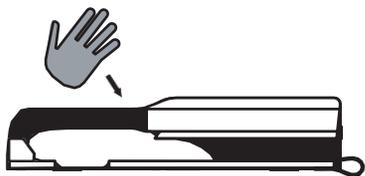
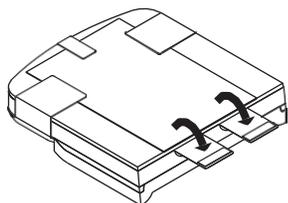
## フィッティング・調整ガイド

# AXIOM AS | AXIOM ASP フィッティングと調整

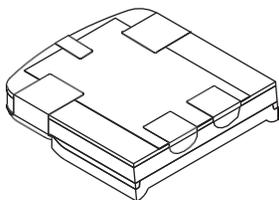
1 カバーを取り外します。



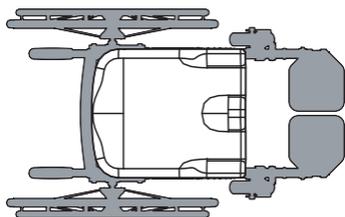
2 座骨パッドを固定しているベルクロをクッションのベースから外します。その際、貼り付けられていた場所に注意します。ベルクロをクッションの最前部に再度貼り付けます。これにより、パッドのリザーバー側を引き抜くことができます。フルード(ゲル)をブラダーの後部に送り、リザーバーの端から出します。



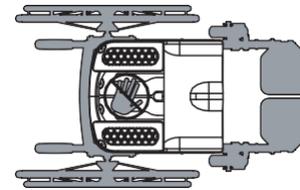
3 ベースのベルクロを元の位置に取り付け直し、カバーを取り付けます。



4 準備したクッションを車椅子の適切な位置に置き、座った際に骨盤がクッションのゲル部分上に位置するようにします。

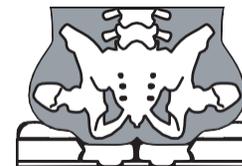


5 カバーの前側ジッパーを開けた状態で、クッション上に移乗します。その際、パッドを手で押さえないよう注意してください。



6 ユーザーが車椅子上で好みの姿勢で座れるよう、場合によっては補助します。

7 フルードは圧力により、座骨パッドのリザーバー側へと流れていきます。これには3分~7分程度かかります。ほとんどのユーザーはフルードの移動(沈み込み)が止まったことがわかります。また、転子パッドに荷重がかかり変形したことを確認し、沈み込みを判別することもできます。



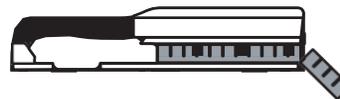
8 ユーザーが適切に座っている状態で、抵抗を感じる深さまでリザーバープラグを差し込みます。



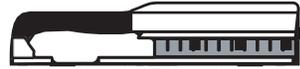
9 リザーバープラグの次の切れ目がフォームベースの前面と一致するまで、リザーバープラグを押し込みます。



10 プラグの残りの部分をポキッと折ります。



11 プラグを取り付けた状態で、クッションのジッパーを閉じます。



注: 骨盤の傾きなどで姿勢が非対称な場合、左右のプラグの長さが異なる場合があります。

- 必要に応じてクッションを調整し、坐骨への負担を軽減することができます。より多くのフルードがリザーバーに流れ込むよう、プラグを1段階前に引き出します。
- あるいは、1段階長いリザーバープラグを挿入することで、フルードを後方に押し出すことができます。